



日本子ども虐待防止学会
第22回学術集会 おおさか大会応募シンポジウム
全国妊娠 SOS ネットワーク「母子保健サービスの切れ目を埋める
妊娠相談と貧困妊婦への支援を考える」

子育て世代包括支援センターの全国展開へ向かう中、貧困で受診できない女性、母子健康手帳が取得できない女性、住所不定の女性、中絶を考えている女性、妊娠・出産の事実を誰にも知られたくない女性など、切れ目ない支援に初めから乗れない女性たちも存在します。彼女たちにどうアウトリーチし、どう支援につなげるのか、フィンランド、オランダ、韓国の妊娠期の支援から学び、ディスカッションする場とします。

日時：11月25日（金）14：25～16：00

定員 130 名 ※学会参加者はどなたでも参加可能。

場所：大阪国際会議場 8 階 801-802

申込み不要

シンポジスト：

- （フィンランド）榊原 智子 / 読売新聞東京本社調査研究本部 主任研究員
（韓国）姜 恩和 / 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 講師
（オランダ）佐藤 拓代 / 大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター長、医師
（日本）松岡 典子 / NPO 法人 MC サポートセンターみっくみえ代表、助産師

ファシリテーター：赤尾 さく美 / 一般社団法人ベアホープ理事、助産師
日本財団ソーシャルイノベーション本部福祉特別事業チーム



詳細は全妊ネットのホームページをご覧ください。

<http://zenninnet-sos.org/>

「相談員さん向け情報ページ」の「全妊ネットの研修情報」をクリック！

お問い合わせ先：全国妊娠 SOS ネットワーク（全妊ネット）
pregnancy.sosjapan@gmail.com

